

CORIMA チューブレスレディ(TLR) ホイールについて

2020年に発売されたMCC WS+ DX(カーボンスポークのディスクブレーキ仕様ホイール)について、当初CORIMAはリム高32mmと47mm、各リム高ホイールについてチューブラーとチューブレスレディを準備していました。しかしチューブレスレディホイールの製作は延期となり、クリンチャーに変更となりました。

32mm MCC WS+ DX Tubular

32mm MCC WS+ DX Tubeless Ready → Clincher

47mm MCC WS+ DX Tubular

47mm MCC WS+ DX Tubeless Ready → Clincher

よって現在CORIMAが製作するチューブレスレディホイールはグラベル用G30.5ホイールのみです。

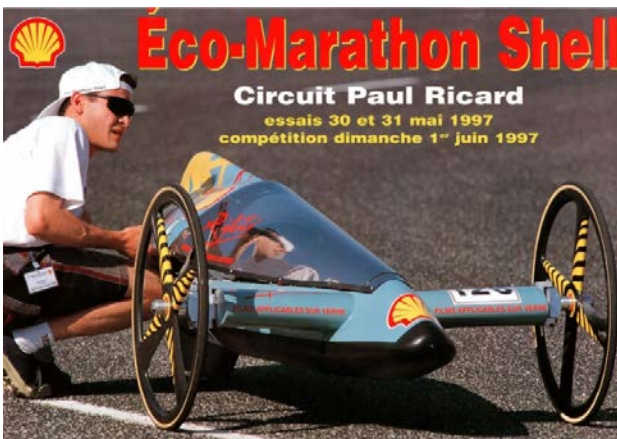


CORIMA Gravel G30.5 DX TLR

これについて、CORIMAは以下のように説明しています。

長年にわたり、CORIMAはさまざまな目的でさまざまなチューブレスリムを実験し、製造してきました。

チューブレスでの最初の取り組みは、現代のトレンドに先行するもので、90年代のEco Marathon Shell*用のホイールと、2008年に発売されたCORIMA AERO +Tubeless**ホイールです。



*Shell Eco-Marathonは、Shell(シェル)が主催する世界的なエネルギー効率コンテストです。参加者は、可能な限り最高の燃料効率を達成するために自動車を製造します。現在のヨーロッパShell Eco-marathon[9]の燃焼機関エントリー用記録は、2004年に燃料1リットルに相当する3,410 kmに設定されました。

**<https://www.velonews.com/gear/apparel-accessories/wrenched-and-ridden-hutchinson-rt1-tubeless-carbon-clincher-wheels/>

AERO +Tubeless は、Hutchinson と彼らの Fusion2Tubeless タイヤとともに共同開発されました。

2020年4月に、最新のチューブレス製品である MCC Dx TLR、WS Black Dx TLR、G30.5 TLR ホイールセットのリリースを発表しました。

これらのホイールセットは、チューブレスに対して2つの異なる方法を使用しています。

TSS：フックレスまたは Tubeless Straight Sidewall デザイン

TC：フックスタイルのチューブレスデザイン (Tubeless Crochet)

一般的に、グラベルまたはより大きなボリウム / より低いタイヤ空気圧で使用するには、TSS スタイルのリムを使用します。逆に、より小さなボリウム / より高いタイヤ空気圧での使用には、タイヤの製造にばらつきがあっても、さまざまなタイヤをより高圧力で安全に保持できるフックデザインの機能を備えた TC スタイルのリムを使用します。当社の CORIMA Gravel G30.5 は TSS 設計の TLR でリリースされました。

他社ブランドは TSS またはフックレスデザインの舗装道路用 / 小さいタイヤボリウムのホイールセットを提供していますが、5bar/ 72.5psi の最大膨張圧の ETRTO 推奨に関する制限を考えると、TSS でそのようなホイールを提供することは快適ではありませんでした。舗装道路用 / 小型タイヤの用途では、パフォーマンスと安全性の両方の観点から、効果を発揮するために 5 BAR (70 PSI) を超える圧力の 25c タイヤを受け入れる能力が必要であると我々は考えています。我々はそのようなホイールを設計することができますが、我々の焦点は、ライダーの安全を何よりも第一にした使用目的のために明確に設計されたホイールをライダーに提供することです。

結局、TC スタイルの MCC DX および WS Black DX チューブレスホイールを完成させるための最初の生産努力は、当社の基準を満たしていませんでした。より高い圧力に対応できる TSS 設計を提供できるようになるまで、ライダーの安全を確保しながら、チューブレスでのこれら2つの舗装道路用モデルの提供を遅らせることにしました。

これらの2つのモデルのホイールは、チューブラータイヤとクリンチャーチューブタイプのタイヤの両方で発売されています。



CORIMA Aero+ Tubeless